

医療事故情報収集等事業

医療 安全情報

2013年から2015年に 提供した医療安全情報

No.127 2017年6月

2016年にも再発・類似事例が報告されています

◆2013年から2015年に提供した医療安全情報(No.74~109)のうち、2016年に再発・類似事例が報告されたタイトルおよび件数は以下の通りです。なお、報告件数が5件以上のタイトルのみ事例を掲載しています。

番号	タイトル	2016年の報告件数
No.77	ガベキサートメシル酸塩使用時の血管炎(第2報) 第1報：医療安全情報No.33	1件
No.78	持参薬を院内の処方に切り替える際の処方量間違い	2件
No.80	膀胱留置カテーテルによる尿道損傷	7件
	看護師は膀胱留置カテーテルを挿入した際、カテーテル内に尿の流出はなかったが、禁食のため膀胱に尿が溜まっていないと考え、バルーンに蒸留水を注入したところ、カテーテル内に血液が流出したため、抜去した。その後、泌尿器科医師が尿道損傷と診断し、膀胱瘻を造設した。	
No.82	PTPシートの誤飲(第2報) 第1報：医療安全情報No.57	8件
	準夜勤看護師は、PTPシートを1錠ごとに切り離したプロチゾラム錠を、一包化の薬包から出した薬剤と一緒に薬杯に入れ、患者に渡した。深夜勤看護師は、プロチゾラム錠のPTPシートの確認ができていないと申し送られた。翌朝患者にPTPシートがあるか確認した際、患者は「喉のあたりがちくちくする。」と話した。その後、X線、CT撮影で食道に異物らしきものが残存していることがわかり、内視鏡でPTPシートを除去した。	
No.85	移動時のドレーン・チューブ類の偶発的な抜去	8件
	術後、患者を手術台からストレッチャーに移動する際、看護師は患者の腹部の上に採尿バッグを置いたが、採尿バッグのチューブの位置を確認していなかった。患者を移動したところ、チューブが手術台のサイドレールに引っかかり、膀胱留置カテーテルが抜けた。	
No.87	足浴やシャワー浴時の熱傷	1件
No.89	シリンジポンプの取り違い	1件

